

読者 コトバ

鋸南で初めて開催 安房地域母親大会

母親大会って、ご存じですか？「元始、女性は太陽であった」と書いた平塚らいてうをはじめとする女性たちが1954年、アメリカのビギン環境で広島、長崎から三度目の水爆実験に反対したことをきっかけに始まりました。

安房では、今年で24回目を迎えます。今年「歌は、あらゆる壁を越えて」と題して、歌手・美地さんのコンサートです。「地上を美しくする子」の祈りを込めて名付けられたと聞きました。

その名を体現するように、これまでの活動もベトナム、アウンジュビツなどで戦争と貧困のない世界にしていきたいと祈りの音楽会を開いてきました。

また、障害児教育の現場の経験を生かし、福島原発事故で鴨川に避難してきた施設の子どもたちを世話し、歌で励ます活動もしてきました。

「アメイジンググレイス」「一本の鉛筆」「ふるさと」など、シャンソンから童謡まで幅広く歌い、あすへの元気を養う時間をお届けします。

美地さんは、先の大戦中、食糧増産のため房総の花つくりが禁止された史実の歌、「花とふるさと」を知り、その創作曲の一部を歌う予定です。

13日午後1時半から、鋸南町中央公民館で開催されます。鋸南町では初めての開催となります。当日は、「小さくても輝く町じくじ」をキャッチコピーに据えて、町政のかじ取りをする白石治和町長からのごあいさつ。続いて、鋸南町にほれ込んで移住したという農業に励む若者、山田永太郎さん。なぜ、鋸南町だったのか？農業を志した理由などを語って

いただきます。山田さんは、地域の方々と共に有害鳥獣対策にも一生懸命に取り組んでいます。母親大会は「生命を生み出す母親は、生命を育むことをのぞみます」のスローガンに母親のみならず、男性、女性、未婚、既婚間

わす、どなたでも参加できます。会場は、駐車場が少ないため乗り合わせでお越しください。お問い合わせは、お願ひ申し上げます。お問い合わせは、お願ひ申し上げます。

お問い合わせは、お願ひ申し上げます。お問い合わせは、お願ひ申し上げます。

美地さんコンサートも

13日 鋸南会場に母親大会

第24回安房地域母親大会が13日午後1時半から、鋸南町の町中央公民館で開催される。歌手の美地さんのコンサート「歌は資料代として500円。保育の見守り(託児所ではない)もある。

は、あらゆる壁を越えて」が町の魅力を、安房地区在住者が安房地域で起きている問題などを語る。

第2部は、各地で愛と平和の歌を届け、疲れた心を癒やす活動を続ける美地さんのコンサート。男女の別、未婚か既婚かに関係なく、誰でも参加できる。

【3面に関連の読者のコーナー】

「生命を生み出す母親は、生命を育む、生命を守ることをのぞみます」をスローガンに、安房地域で毎年開かれている。今回は初めて鋸南町を会場にする。

第1部では、鋸南町民